

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672200112
法人名	有限会社 蒼里夢
事業所名	グループホーム どりーむ
所在地	鹿児島県指宿市開聞十町5210番地4 (電話) 0993-32-0313
自己評価作成日	平成25年2月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設から9年となり、落ち着いた穏やかな日々を送っています。職員の定着率も良く、常勤職員は全員が3年以上の勤務となっています。開聞岳の麓にある小さな自治会で、子供の数も数名と少ないですが、休みの日は決まって遊びにきててくれて、もう3年の付き合いとなりました。

24年度は、開設当初から入所されていた方々が、体調変化で入院退所されたり、老衰にてどりーむでの看取りを行ったりの一年でもありました。寂しさと共に、家族の方々からの感謝やねぎらいの言葉が、職員の励みとなりました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームは開聞岳麓の国道沿いにあり、代表者宅が同一敷地内にあることから、地域との協力関係が確保されており、近所の高齢者や子供達が気軽に訪れる等、日常的に自然な交流ができている。
- ・日光浴や近隣の散歩等で地域住民から気軽に声をかけられたり、避難訓練への住民の参加がある。また、子供達も参加する交流会を設ける等、地域全体との協力関係が築かれている。
- ・職員の定着率が高く、職員と利用者の馴染みの関係が良好に築かれており、家族的な落ち着いた関わりができる。
- ・個々に応じたケアを工夫し、職員全員が身体拘束をしないケアを取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を掲げ、その意義を踏まえた行動ができるよう、ミーティングで発表し合っている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を揭示し、ミーティング時に唱和し確認し合って、日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方とは、日光浴や散歩中の会話のほか、ほぜ祭りへの参加を行っている。近所の子供達や高齢者も時に、遊びに来て下さる。	ホーム代表者が自治会に加入し、地域の情報や協力体制ができている。ホームも自治会の一員として地域行事のほぜ祭りや敬老会等へ参加している。近隣の散歩等で挨拶の交換をしたり、友人や子供達の訪問があり、地域交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	同敷地内に住む、ホームの代表者が地域の方や、家族からの介護相談を受け対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の会議において、サービス内容や予定の報告を行って、参加者からのアドバイスや地域の情報を頂くことで、サービスに生かしている。	会議は定期的に開催し、ホームの現況報告や年間計画・外出支援状況等を報告し、参加者からは、地域の行事や住民に関する情報等、意見交換を行っている。前回は、避難訓練時の車椅子体験の提案が出され、早速実施し、サービスの向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行政の方からは、サービス内容や書類の指導のほか、施設見学・研修など、様々なことを相談できる良い関係を築いている。	市担当者とは、利用者の支援や介護計画についての助言をもらっている。また、他施設見学の相談を行い、アドバイスを受けている。市主催の研修会に参加したりして、密に連携を取り合っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	拘束行為の内容を詰所に掲示し、職員が正しく理解できるように努めている。玄関施錠も、夜間の防犯目的以外は行っていない。	身体拘束は「しない」ではなく、「できない」を念頭に、マニュアルを作成し、勉強会のテーマに掲げ、拘束の具体的行為を掲示して職員の理解を深めている。日中の玄関の施錠はしていない。職員間の連携で自由な暮らしを支援して、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	マニュアルで学び、ミーティングで話題にすることで、機会を作っている。入浴では全身の観察をし、家族とのコミュニケーションにも務め		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者が以前研修に参加したが、今のところ活動としての実績はない。しかし、必要に合わせて活用したいと考えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時や改定時は、説明書に添って直接説明し理解と承諾を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者からは、日頃のコミュニケーションの中から、意見を求め、家族からは運営推進会議への家族代表の参加や、家族の面会時に広く意見を頂くように努めている。	利用者からは、日々の言動や表情・些細な行動から意見や要望を引き出せるようにしている。家族からは、月次報告や通信の折に思いを聞き、面会時には管理者が声かけをして、要望等を聞くように努めている。運営推進会議で家族代表の意見を聞き、出された要望等は、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングにおいて、職員からは様々な意見を、遠慮なく出してもらうよう声かけしている。管理者は、日々の業務で得た職員からの意見も、代表に伝え運営に反映してもらっている。</p>	<p>職員からは、毎月のミーティングで話し合う場を設け、意見や提案を聞いている。管理者は、日常的に個別に話を聞いたり、相談にのって、代表に報告している。代表も3ヶ月に1回はミーティングに出席し、職員の意見を聞き、運営に反映させていく。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、職員個々の状況や希望・実績に合わせて、給与や勤務形態・条件を調整し、働き易い環境の調整をしてくれている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内の中から、職員の希望や必要に合わせた研修会への参加を進め、研修手当の支給もされている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区や薩摩半島支部の協議会に加盟し、役員活動や研修会参加を行い、同業者と交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	なるべく、入所前の顔合わせに努めているが、やむを得ない場合でも、入所の際にじっくりと話を聞き、不安の軽減に努めている。			
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族とは、入所申込みに来られた際に、管理者や職員が丁寧に対応し、不安や要望に応えるとともに、信頼関係の構築に努めている。			
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申込みや相談の際は、ケアマネ資格を有する管理者が中心に対応し、その時必要な支援の見極めや、他のサービスの紹介や相談方法などを説明している。			
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事や昼食・散歩などを、世間話をしながら楽しく一緒にすることで、共に生活する者同士としての関係を築いている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間に制限はなく、いつでも歓迎している。体調不良での病院受診など、重要な場面では必ず同席してもらい支えとなつてもらっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族との外出の希望があれば、心配がないように準備や説明を行っている。病院受診で、知り合いの方がいれば、間を取り持って会話を助け、馴染の関係が途切れないように支援している。	利用者の希望に応じて、自宅訪問や行きつけの理・美容院の利用、知人の面会等、ホーム行事に知人や友人や身内の参加を呼びかけ、関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	知り合い関係や相性を考慮した席順を行い、利用者同士の会話や馴染の関係を支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院など急な退所が多いため、その後の経過を伺ったり、入所中のアルバムを作成して、御渡するなど、機会をつくってフォローに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの訴えに耳を傾け、希望や意向の把握に努め、職員間で共有して、その都度検討し支援している。	日常のケアや利用者間の話から把握し対応している。自分で要望等を言う利用者が多い。困難な場合は、表情や言葉・動作等や、家族からの情報をもとに職員間で話し合っている。リハビリを受けたいとの要望を実現する等、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に本人・家族からの情報収集の後は、職員それぞれが声かけし得た情報を共有して、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝夕の申し送りに於いて、現状の把握に努めるとともに、受け持ち制として職員会議等で現状評価している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人とは、日々の生活の中で意見を聞き、家族の面会時は、現状報告やケアに対する希望を聞いている。定期の病院受診では、主治医や看護師と意見交換して、介護計画への反映に努めている。	本人や家族の要望をもとに、主治医からの情報及びミーティングでの職員の意見等を反映して介護計画を作成している。モニタリングを毎月を行い、状況の変化時は、その都度見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別的な日々の記録のほか、毎月のミーティングでは、各受け持ちの職員を中心に情報の共有とケアの見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族や本人からの希望があれば、一緒に検討し、それに応えられるよう柔軟な姿勢で取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方で結成する、自衛消防隊の協力を頂いて、避難訓練を行ったり、近所の子供達の参加で誕生会や季節の行事を行たりと、安全で豊かな生活を楽しめるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からの、かかりつけ医へ継続して受診しており、主治医や病院職員とも連携し、良い関係を築いて支援できている。	かかりつけ医への受診を支援している。職員が同行して受診しており、緊急時もかかりつけ医の受診を基本に対応し、適切な医療が受けられるよう支援している。協力医療機関との連携体制もできている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中で得た情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	常勤4名中3名と非常勤5名中3名が看護資格を有しており、管理者（看護師）を中心に情報を共有して、医療現場と連携している。			
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時には、情報提供所を作成するほか、定期受診や体調変化の際の情報交換や相談を行い、医療関係者との信頼関係の構築に努めている。			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時の希望確認を行うほか、状態に合わせて、適宜家族や医療機関と相談し、希望や方針を共有するよう努めている。	重度化や終末期についての方針があり、本人や家族の意見を聞き、その都度、職員間で話し合がされている。ホームの方針は、家族の要望に沿って対応に努めることとしている。看取りの事例もある。		
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	事故発生時は、職員9名中6名いる、看護資格の職員を中心に初期対応を行っている。また、毎月の職員会議の際に転倒時や窒息時の対応などを確認し合っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	最低でも、年2回の避難訓練を実施し、消防署の立会のもと、地域の自衛消防隊との合同訓練も行って、評価や指導を頂いている。	年2回、消防署の指導のもと、災害避難訓練を実施している。地域の自衛消防隊との合同訓練も行っている。今年は、車椅子の操作法を練習して車椅子体験をして防災意識を高めている。スプリンクラーが設置され、災害時の水や食料も備蓄されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>親しみのある地元の言葉を使用しつつ、プライドや誇りを損ねないよう、丁寧な対応や言葉使いに努め、管理者は職員にも指導している。</p>	<p>人格を尊重し、誇りを傷つけないようなケアを心がけている。入室の際の声かけやトイレ誘導時のさりげない支援やトイレの戸を閉めること等、プライバシーの確保に努めている。職員間で気づいた事は、その場でお互いに注意し合って意識向上に努めている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常生活の中での会話を大切に考え、おしゃべりの中から希望をくみ取り、指示ではなく提案することで、自己決定できるよう支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な日課はあるが、体調や生活リズムを考慮し、希望をききながら一人ひとりのペースを大切に考え支援に努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>女性の利用者が多い為、日中は適宜髪を解き、服は家族の協力で、好みの衣服を持ってきてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入所時に食べ物の好みを聞き、対応している。家族の差し入れなどは、自室で家族と共に楽しんでもらっている。	利用者の身体状況に合わせた、食事形態や嗜好のメニューに配慮している。誕生会には、好みのものを聞いて対応している。調理の下ごしらえを職員と一緒にしたり、保存食作りを楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は記録に残し、体調不良時は看護師を中心に検討し、チェック表を活用しながら、経口量の管理をおこなっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後のうがいや、夕食後の義歯洗浄の支援を個々のADLに合わせた方法で支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し情報共有することで、排尿の支援や排便コントロールを行っている。日中は、座位保持の可能な方は、トイレ排泄を介助している。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、排泄チェック表により、個々に応じてさりげない声かけや誘導を行っている。オムツなしのケアに取組み、トイレでの排泄を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	お茶請けに蒸かし芋の提供や、体操・レクレーションなどの活動を行うほか、医師の指示のもと看護職を中心に緩下剤の調整を行っている。			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々に応じた入浴の支援している	日課や入浴の計画表はあるが、それだけにこだわらず、希望や汚染状況に合わせて、臨機応変に支援している。	季節によって夏場は週3回、冬場は2回の入浴を計画しているが、希望や身体状況に合わせて柔軟に対応している。シャワー浴や清拭も支援している。入浴剤の使用等で、楽しんで入浴するよう工夫している。		
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜の生活リズムが乱れないように考慮しながら、活動や休息を支援している。			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護資格を有する職員が、本人や介護職員に必要に合わせて説明を行い服薬管理を行っている。			
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	女性が多く、野菜の下ごしらえや干し大根、金柑漬けなどの保存食制作などを楽しんでいる。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日光浴や車椅子散歩・ドライブの支援を行っている。花見・そうめん流しや地域の行事（芸能発表会・ほぜ祭り・駅伝応援）などの参加も楽しんでいる。	日常的には、日光浴をしたり近隣の散歩や買い物を兼ねたドライブで戸外に出かけるように支援している。年間計画を立てて、花見や外食・イベント参加・地域行事等へ、家族の協力を得て一緒に楽しみ、閉じこもらない支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は、家族管理の方々のみであるが、希望者には一緒に出納帳をつけて、金銭管理することも可能である。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	年賀状を書いたり、希望があれば家族へ電話を取り次ぐなどの支援を行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中は、フロアで過ごされる方が多いので、温度・湿度計を確認しながら、空調管理を行っている。季節の飾り物も、皆で制作したり、花を飾ったりして季節感を出している。	天井が高く高窓があり、空気清浄器や温湿度計がある。音に配慮され、掃除が行き届き清潔である。明るいリビングは、季節の花が飾ってあり、利用者の移動がしやすいようにテーブルが斜めに置かれ、壁には、子供達の作品等が飾られ、家庭の居間のように、飼い猫の出入り口がある。くつろげるスペースの畳の間などがあり、落ち着いた雰囲気の共用空間である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	車椅子の方が多いため、声かけて個別の活動や自室への誘導を支援したり、気の合う方同士の席の配置に努めている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	本人の必要なものや欲しい物を家族に伝えたり、写真やカレンダー・絵などを飾って、暖かな雰囲気の部屋を支援している。	居室はベッドとタンスが備え付けてある。テレビや馴染みの時計・家族の写真等が置かれている。居室の入り口には、分かりやすい表札があり、それぞれ個性のある作りになっている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	必要な場所には、手すりや表札を取り付け、安全かつ分かりやすいように、支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない